

<講師> 電気情報学群 電気電子工学科 教授 道下 尚文 (みちした なおぶみ)

<テーマ> 電磁波領域における安全保障とアンテナ技術の基礎

<講義概要>

電磁波は携帯電話やGPSなどの日常生活から、レーダーや電子戦などの防衛用途まで多岐にわたって利用されている。本講座では、電磁波領域における安全保障とわが国の電磁波・電子線研究を概説し、アンテナ技術の基礎と最新動向を紹介するとともに、メタマテリアル研究の今後の展開について述べる。

<略歴>

2004年3月 横浜国立大学大学院工学府物理情報工学専攻博士課程後期修了

2004年4月 防衛大学校 助手(電気情報学群電子工学科)

2006年4月 カリフォルニア大学ロサンゼルス校 客員研究員

2007年4月 防衛大学校 助教

2012年4月 防衛大学校 講師

2014年4月 防衛大学校 准教授

2021年4月 防衛大学校 教授

<著書論文等>

1 メタマテリアルアンテナの基礎 (コロナ社、2021)

2 Simplified Local Specific Absorption Rate Measurement Method Using Lightweight Phantom Composed of Wave Absorber Embedded of Electric Field Probe (IEEE Trans. Electromagn. Compat., 54, 2012)

3 右手/左手系複合伝送線路を用いた小形広帯域携帯端末用アンテナ (信学論, J95-B, 2012)

4 Coaxially Fed Monopole Antenna With Choke Structure Using Left-Handed Transmission Line (IEEE Trans. Antennas Propag., 65, 2017)

<講師> 防衛学教育学群 戦略教育室 准教授 中澤 信一 (なかざわ しんいち)

<テーマ> 領土等問題アラカルト～竹島は何県？尖閣の中国海警船は何処から？～

<講義概要>

○「獨島VS竹島キャンペーンの比較」

中国の東北工程政策に韓国が取った対抗策を参考に韓国の獨島キャンペーンと日本の竹島キャンペーンを比較しながら紹介します。

○「尖閣周辺海域における中国海警局に所属する船舶の行動パターン」

2019年～2021年の3年間の尖閣周辺海域に派遣される中国海警局に所属する船舶の個々の動静を線表にして、その派遣行動パターンを艦長目線で分析。「中国海警法」で容認された「武器使用」の本気度を探った個人的な見解を紹介します。

*情勢の変化により内容が変更されることもあります。

<略歴>

1984年3月 防衛大学校28期(国際関係論)卒業

1993年3月 海上自衛隊第1術科学校(艦艇用兵課程)修了後、護衛艦「あきぐも」機関長

1995年8月 掃海艇「ひこしま」艦長

1998年3月 海上自衛隊幹部学校指揮幕僚課程修了後、横須賀地方総監部防衛主任

2000年3月 掃海艦「はちじょう」艦長

2001年3月 海上幕僚監部運用課〔えひめ丸災害派遣・カラチ人道支援担当〕

2001年9月 兼運用局(総務省出向(併任))〔福岡県苅田港遺棄化学弾処理担当〕

2003年4月 第42掃海隊司令〔阪神基地隊〕

2006年3月 海上自衛隊幹部学校幹部高級課程修了後、防衛大学校首席指導教官

2008年8月 掃海母艦「うらが」艦長

2012年3月 現職〔2016年9月定年退官・再任用〕

<著書・論文等>

「在韓米軍の再編は朝鮮半島の安定に寄与するか？」(2006年2月) 日本防衛学会事務局

横須賀市産学交流セミナー講師(2016年、2019年)

NPO法人海外安全・危機管理の会主催外交・安全保障サマーセミナー講師(2016年～)

担当科目: 「戦略」「戦略論Ⅰ(領土問題)」「防衛学特論」「基礎ゼミ〔伝統の継承〕」